

## 日経 SDGs フォーラム特別シンポジウムに登壇しました (2019/10/08)

テーマ：産学官連携、防災・減災、グリーンインフラ  
場所：東商グランドホール（東京都千代田区）

2019年10月8日(火)に東商グランドホール(東京都千代田区)にて開催された、日経 SDGs フォーラム特別シンポジウム 東京海上日動創立 140 周年・マングローブ植林 20 周年記念「地球の未来にける保険『マングローブ植林』を通じた社会価値創出」において、産学連携の取り組みとして、当研究所の今村文彦所長がパネルディスカッションのパネリストとして登壇しました。

本シンポジウムは、国連による「持続可能な開発目標 (SDGs=Sustainable Development Goals)」の達成に向けた企業の取り組みを支援するプロジェクト「日経 SDGs フォーラム」の特別シンポジウムとして、日本経済新聞社・東京海上日動の主催により開催されたもので、創立 140 周年を迎えた東京海上日動が、20 年にわたって継続してきたマングローブ植林の成果や、今後に向けた課題が議論されました。

「『地球の未来にける保険』～サステナブルな未来づくり」と題したパネルディスカッションでは、今村所長より、当研究所の発足など東日本大震災などの対応とマングローブを始めとしたグリーンインフラの減災効果を主題として、東日本大震災を踏まえた災害科学の知見の変化、当研究所および寄附研究部門のご紹介、2004 年スマトラ沖地震津波における海岸林の津波減災効果、そして仙台平野において進みつつあるグレーインフラ・グリーンインフラを統合したハイブリッドな津波対策等が紹介されました。

パネルディスカッションおよび会場からの Q&A では、講演内容に関連した話題を中心に、参加者・講演者を交えた闊達な議論となりました。



パネルディスカッション



今村文彦所長